

ウインブルドン 2015 四方山話

恒例のウインブルドン 2015 の開幕が6月29日（月）から開催されます。日本にいる友人は、今年もウインブルドン観戦三昧をすると開幕前日から7月12日の決勝までロンドンに滞在し、毎日早朝から売り出される限られた数の当日チケットを求めて列に並ぶと意気込んでいます。Good Luck!

さて、開幕直前のウインブルドン 2015 に関する様々な話題が、BBC やウインブルドン HP、メディアに掲載されています。日本で錦織圭選手やジョコビッチ選手、フェデラー選手の熱戦の様様をテレビ中継でご覧になる時に参考になればと思い、ウインブルドン四方山話としてまとめました。

正式試合名：The Championships 2015, Wimbledon

開催年：1877年

開催日：2015年6月29日～7月12日

開催地：ロンドン南部ウインブルドンにあるオールイングランド・ローンテニス・クラブ
(The All England Lawn Tennis Club - AELTC)



会場のロンドン南部ウインブルドンにあるオールイングランドローンテニスクラブ
上から No.1 コート、センターコートが見えます。(主催者 HP より)

- ・会場の広さは42エーカー（約17万㎡）で、19面の芝生コート、8面のクレイコート、22面の芝生の練習用コート、5面の室内ハードコートで合計54面のコートがある。
- ・主催者は期間中の観客数は約50万人を見込んでいる。
- ・センターコートのみが開閉式のドームが設置されている。ドームが閉められた時は光をよく通す特殊繊維で作られたカバーで覆われそれは1本70トンの鋼鉄の稼動梁10本で支えられている。駆動部分や鉄骨のフレーム含む開閉式ドームの総重量は1000トンにもなる。開閉時間は10分、前後の準備を入れると30分はかかる。観客定員は15,000人。
- ・ショーコートと呼ばれるスタンド型観客席を持つセンター、No1,2,3,12,18コートにはホークスアイ（鷹の目）と呼ばれるライン判定システムが導入されている。これは10台の高速カメラで撮られたボールの軌跡を瞬時にコンピューターで解析してラインギリギリのきわどい審判の判定に選手が不服を申し立て（チャレンジ）が出来るシステムである。ちなみに昨年は、男子選手で428回のチャレンジがあり、120の判定が覆っている。女子は191回のチャレンジで49の判定が覆っている。
- ・今年は男女各128名、男女ダブルス各64ペア、混合ダブルス48ペアが出場予定。
- ・英国人審判員350名、海外審判員60名が審判に当たる。
- ・芝生の手入れは16名の専門スタッフが行っている。毎年4月に9トンの芝の種が蒔かれ試合までは芝の長さを15cmに保ち、試合中は8cmに刈られ、毎夜水撒きが行われる。9月にはコートの水平面を保つため、6トンの土壌が追加される。



芝生の状況は試合の成り行きをも左右するので、管理は大変重要な任務です。

（主催者 HP より）

- ・ Ball Boys & Girls (BBG)と呼ばれる平均年齢15歳の少年少女が試合期間中、選手へのボールの受け渡しやボール拾い、選手から要望される飲み物やタオル等の受け渡しをテキパキと行っている。
- ・ BBGは指定された学校の生徒250名が選抜され、毎年2月から6月末の開催を目指して厳しい訓練を受けている。（毎年、希望者多くて学校側は選抜に頭を悩ましている由）
- ・ BBGはセンターコートには1チーム（6名）の4チームが当り、1時間毎の交代で担当。

- ボールは 1902 年以來スラッセンジャー製を使用している。期間中に約 55,000 個が使用される。使用済みボールは会場内の売店で売られている。
- 選手は厳しい服装規約に従わねばならない。ウェア、帽子、手首バンド、靴と身に付けるものすべて白色のみで、ウェアの首周りやスリーブのみに 1cm 幅のカラーラインが許されている。
- 賞金総額 £ 26.5M(49 億円)、優勝賞金は男女とも £ 1.88M (3 億 5000 万円)、1 回戦敗退でも £ 29K(540 万円)、2 回戦敗退は £ 47K(870 万円) が支払われ、テニス大会では最高額である。

日本の期待のホープ錦織圭選手の足の故障が気がりですが、優勝を目指して頑張ってください。(了)